

令和5年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区: 舟着地区 開催日時: 令和5年9月29日(金) 午後7時00分 ~ 午後9時10分 開催場所: 舟着 鳥原児童館 担当議員: 6名 (氏名: 丸山隆弘、長田共永、山口洋一、村田康助、山田辰也、齊藤竜也) 参加人数: 男性6名、女性0名 計6名	報告者 山田辰也
---	-----------------

分類: ●議会に関するもの ○市政に関するもの 対応: ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
1	職員の定数改正の条例について35人増ということですが、これは人件費を増やしても職員を増やして充実化を図るという理解で良いか。職員には責任をもって業務にあたっていただくために給与も上げてほしいという声もある中、人員を増やすという施策ということか。	今回の条例改正は職員を増やすのですが、中身は市民病院や消防事務局の人員増によって業務体系の充実化を図ったもの。	○	①	山口洋一	条例改正
2	辺地債や過疎債というのはどういった地域の事をさしている、どのように有効活用されるのか。	辺地債というのは旧作手村、旧鳳来町の中でそれぞれ面積や人口などに基準があり定められている。例えば辺地事業として鳳来川売地区での道路改修などが辺地事業として対象となっており、地方交付税の戻りが大きくなっている。過疎債も同様に過疎地域として旧作手、旧鳳来が該当し事業に対する地方交付税の優遇があり有効に使わせてもらっている。	○	①	丸山隆弘	過疎債 辺地債
3	市税の一部改正で森林環境税徴収とあるがこれはどのように徴収されどのように使われるものか。県や国の森林の関係で耳にしたことはあるがよくわからない。	今まで愛知県は単独であいち森と緑づくり税としてあったが、森林環境税は全国一律で行われる税徴収となる。 森林環境税は国民一人1000円徴収され均等割り税制に組み込まれる。これまでの県税森と緑づくり事業は新城は大きな割合で頂いて事業を行っている。 徴収はこれから始まる。	○	①	村田康助 丸山隆弘	森林環境税
4	森林関係の事業についてはこれからの時代で重要な事業となってくるのでよく見ていていただきたい。	森づくり事業や、保安林などの治山事業などさまざまな地域要望に対応できるようにこれから有効活用されていくもの。市だけでなく県からの提案も地域とともに考えて行くもの。	○	①	齊藤竜也	森林環境税
5	視察した内容などは議会からどのように政策提案されていくのか。	視察内容も含めて政策予算要望として議会から提案している。また行政視察については、数年前より行政職員も随行して同じように学び、積極的に政策につなげられるように働きかけている。	●	①	長田共永	行政視察

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
6	新城市消防団条例の一部改正について、いま消防団はどんな状態でどのような施策なのか。	団員減少によって班が維持できなく班統合を進めていくことが新城市全体でも課題となっている。	○	①	齊藤竜也	消防団
		今回の条例では出動手当をあげようというものである。これも団員を確保するために必要なもの。			山口洋一	
7	舟着地区はイノシシ被害が大きくて困っている。行政視察で見てきた内容がどんなものだったのか聞きたい。防護柵、ピンクリボンもお金はかかる。獣害防護に何か手立てはないか。	丹波篠山市のICT施策はサル被害が主であった。イノシシやシカに関してやっていることは新城市と大きな差はないが、大きなジビエの民間食肉加工業者があるため受け皿として大きいのが駆除数を多くするメリットとして強いものがあった。	○	①	齊藤竜也	鳥獣害対策
		現状、過去の防護柵の方法を継続しているのみで、助成は電気柵のみである。今後強く要望していく。			山口洋一	
8	区域区分の廃止について行政視察をしてきたとあるが、区域区分の廃止はこの地域でも関心がある。新城市の状況も踏まえてどのようなことだったのか。	視察先の浅口市は合併の際に隣り合った地域が区域区分のある地域と無い地域であった。その地域の方々にとって悲願であった区域区分の廃止は住民意識も高く、また行政としてもデメリットが少なかった面もありポジティブにすすんだがそれでも数年かかって実現している。新城市においては区域区分廃止ありきではなく、どのような街がこれからにとって理想的かを考えマスタープランをベースに考えていく。経済建設委員会が行政と合同に勉強会を開いてベストを目指している。市民に分かりやすいものを提案できるようにすすめていくもの。	○	①	齊藤竜也	区域区分の廃止

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
9	厚生文教委員会の行政視察について、新城市は共同調理場でセンター化の方向性が決まっていると思うが、視察の目的は質のいいものを提供するためということでしょうか。	武蔵野市は人口も密集しているところである。もともと有機農業や無農薬といった変わったやり方をしている。武蔵野市は外郭団体が行政とともに進めている。伝統的に加工食品は一切使わず全て地元で採れたものを契約して使っている。パンも輸入品を使わない。遺伝子組み換えのないものを選定し、残留農薬の測定もしている。金額も高くなる。以前の教育長は自校式でと言っていたところは小さい単位だったため細かく手をかけていけたが、今回は加工食品の比率を上げないといけない。お米はすべて地産地消で行っている。首長が決める。行政が決めるということをしていけない。卵は遺伝子組み換えのないものを使っている。コストは高くなるのだが、その市内で作っているものを使うようにと首長や行政が決断しているもの。	○	①	山田辰也	給食センター
		視察の目的は自校式に負けないように安心安全でおいしいものを提供することであり、いろんな他市の工夫を確認してより良い給食センターにしようというのが視察の目的である。			長田共永	
10	「残留農薬」なんてのは無い話のはずだが。どこの農家さんも分かってるし、当たり前の話だがその検査をするなんて労力ばかりかかるのではないかな。	全てを無農薬、有機野菜にするということではなく、「地元産」を活用することに関しては目標と乖離があるため、より良い策を講じていくように求めていくもの。	○	①	長田共永	学校給食
11	市民病院の建て替えとともに中身の事をしっかり見てほしい。以前、家族が婦人科疾患で危険なときに、市民病院で対応できなかった。さきほど看護師さんなどの補充があるということだが、この対応は数の問題ではなく質の問題である。緊急外来が機能していない。今の状態が続くとすると、新城市民病院は危険である。市議会のほうでもリードして市民を対象によく考えてほしい。	救急連携の取れていない病院、消防はどうなんだという問題は大きい。市民病院の状態含めて議会としてしっかりと対応していく。現状で何ができるのかということも含めて議論していくもの。	○	①	長田共永	市民病院
12	クリーンセンターは稼働があつと8年という中で視察というのは、新しいものの確認やこれから建てるものの参考のために行ったということか。	新城の方法が一番近い。同じものを使っているのを見に行ったもの。クリーンセンターを作るには揉め事が多いという報告を受けた。いまは煙も臭いもほとんどでない。広域化ということなので何処に作るかということを持っていったが、今後は北設も踏まえて場所の選定をしないとといけないもの。	○	①	山田辰也	クリーンセンター
13	クリーンセンターの建て替えは過去の経緯も踏まえて行政の方が見えているのかわからない。市議会の方々も地元の声を踏まえてほしい。住民の声が大事だと感じるがいかがか。	今お話を聞いて、現状、地域住民に伝わっていないのはよくわかった。それはしっかり言っていきたい。令和14年を区切りにするのなら今のうちに地域意見を聞きつつ考えていくべきと提案していくもの。	○	①	長田共永	クリーンセンター